

Novell Filr 1.0.1 Readme

2013年9月16日

Novell.

1 製品の概要

Novell Filr を使用することにより、デスクトップ、ブラウザ、またはモバイルデバイスからすべてのファイルとフォルダに簡単にアクセスできます。また、ファイルとフォルダを他のユーザと共有することで、自分のファイルでコラボレーションを促進できます。Filr の詳細については、『[How Filr Works—Overview Guide](#)』を参照してください。

次の方法で Filr にアクセスできます。

- ◆ ワークステーションの Web ブラウザから：『[Filr Web アプリケーションユーザガイド \(http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_user/data/bookinfo.html\)](http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_user/data/bookinfo.html)』に説明されている方法でアクセスします。
- ◆ モバイルデバイスから：『[Filr Mobile App クイックスタート \(http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_mobile/data/filr1_qs_mobile.html\)](http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_mobile/data/filr1_qs_mobile.html)』に説明されている方法でアクセスします。
- ◆ デスクトップから：『[Filr Desktop for Windows クイックスタート \(http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_desktop/data/filr1_qs_desktop.html\)](http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_desktop/data/filr1_qs_desktop.html)』および『[Filr Desktop for Mac クイックスタート \(http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_desktopmac/data/filr1_qs_desktop.html\)](http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_desktopmac/data/filr1_qs_desktop.html)』に説明されている方法でアクセスします。

Novell Filr 1.0.1 は、以下の拡張機能を提供します。

- ◆ Hyper-V のサポート
- ◆ Xen のサポート
- ◆ パフォーマンスの改善
- ◆ ファイルとフォルダの共有、名前の変更、削除、およびフォルダの作成 (Filr 1.0.2 モバイルアプリの使用時)
- ◆ Mobile Iron のサポート
- ◆ バグ修正

2 バージョン情報

Filr サーバおよび Filr モバイルアプリケーションは、同じバージョン番号を共有しません。Filr 1.0.2 モバイルアプリケーションは、モバイルアプリケーションで共有機能を使用可能にするため、Filr 1.0.1 サーバで使用する必要があります。

3 DFS for Windows テクニカルプレビューの可用性

Distributed File System (DFS) for Windows は、テクニカルプレビューとして、Filtr 1.0.1 で使用できません。この機能は現在、運用環境ではサポートされていない点に注意してください。テスト環境の Filr で DFS for Windows を使用して、Novell テクニカルサポートまでフィードバックをお寄せください。

既知の問題

DFS レプリケーションは、現時点のテクニカルプレビューでは使用できません。この機能は、将来のアップデートで使用できるようになります。

4 Filr システム要件

Novell Filr 1.0 のシステム要件 (サーバの要件、およびモバイルアプリケーションとデスクトップアプリケーションの実行要件を含む) については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Filtr System Requirements](#)」を参照してください。

5 インストールの方法

詳細なインストール手順は、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』で確認できます。

6 更新に関する問題

- ◆ 2 ページのセクション 6.1 「クラスタ環境でローリングアップグレードがサポートされない」
- ◆ 2 ページのセクション 6.2 「更新前に Filr を再構成しないと更新が失敗する」
- ◆ 3 ページのセクション 6.3 「更新後にアクセント文字を再同期する必要があるため、ファイルが存在しない」

6.1 クラスタ環境でローリングアップグレードがサポートされない

クラスタ環境で Filr 1.0 から Filr 1.0.1 に更新する場合、ローリングアップグレード (1 台のサーバがクライアントにこれまでと同じようにサービスを提供している間に、別の Filr サーバまたは検索インデックスサーバを更新する) はサポートされません。

更新プロセスを開始する前に、すべての Filr アプライアンスと検索インデックスアプライアンスをシャットダウンし、更新完了後、アプライアンスを再起動する必要があります。

Filtr の更新方法については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Updating Filr](#)」を参照してください。

6.2 更新前に Filr を再構成しないと更新が失敗する

今後のリリースされるバージョンに更新する前に、Filtr アプライアンスを再構成する必要があります。更新前にアプライアンスを再構成しないと、更新が失敗します。

Filtr アプライアンス再構成の方法については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Changing Configuration Options for the Filr Appliance](#)」を参照してください。

6.3 更新後にアクセント文字を再同期する必要があるため、ファイルが存在しない

初版の Filr リリースでは、ファイル名のアクセント文字を区別しませんでした。このため、あるファイルをファイルシステムからネットフォルダに同期した場合、(アクセント文字の有無以外は)名前が同じ別のファイルを同期しようとする、同期が失敗します。

Filr 1.0.1 ではこの問題が修正されているため、アクセント文字以外は名前が同じである別のファイルまたはディレクトリを、ファイルシステムから Filr に同期することができます。

Filr 1.0.1 へのアップデート後にこの種類のファイルの同期を有効にするには、以下のいずれかの操作を実行します。

- ◆ ジャストインタイム同期 (JITS) が有効でない場合は、Filr サイトでこの機能を有効にします。次に、ファイルが格納されているフォルダに移動し、JITS をトリガして、フォルダの内容を更新します。『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Enabling Just-in-Time Synchronization](#)」を参照してください。
- ◆ ファイルが格納されている Net フォルダに対して、完全同期を実行します。『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Synchronizing a Net Folder](#)」を参照してください。

7 設定の問題

- ◆ [3 ページのセクション 7.1「Domain Service for Windows が設定されていると LDAP がワークステーションオブジェクトを Filr に同期する」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 7.2「memcached の複数のインスタンスを区切るために、スペースを 1 つ挿入しなければならない」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 7.3「Lucene 設定時に DNS 名を使わなければならない」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 7.4「LDAP 同期とログインに使用するユーザ名の文字制限」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 7.5「LDAP から同期したユーザ名とパスワードは Filr ログインで大文字小文字の区別がされない」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 7.6「アプレットサポートの制限」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 7.7「NFS サポート」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 7.8「Access Manager の問題」](#)

7.1 Domain Service for Windows が設定されていると LDAP がワークステーションオブジェクトを Filr に同期する

デフォルトの LDAP フィルタを使って LDAP 同期を実行する際に Domain Services for Windows (DSfW) も使用されていると場合、Filr により、対象ユーザとグループのオブジェクトだけでなく、DSfW ワークステーションのオブジェクトも同期されます。

DSfW ワークステーションオブジェクトが同期しないように Filr LDAP フィルタを次のように修正して、この問題を解決してください。

```
(&(|(objectClass=Person)(objectClass=orgPerson)(objectClass=inetOrgPerson))(!(objectClass=mSDS:Computer)))
```

Filr での LDAP の設定について詳しくは、『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Synchronizing Users and Groups from an LDAP Directory](#)」を参照してください。

7.2 memcached の複数のインスタンスを区切るために、スペースを 1 つ挿入しなければならない

クラスタリングのために memcached のインスタンスを複数指定する場合、[サーバアドレス] フィールドの各インスタンスの区切りは、スペース 1 つだけで行う必要があります。memcached のインスタンス間に複数のスペースを挿入すると、Filr が正しく起動しません。クラスタリングを構成する方法の詳細については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Changing Clustering Configuration Settings](#)」を参照してください。

7.3 Lucene 設定時に DNS 名を使わなければならない

大規模インストールの実行時に Filr 設定ウィザードで Lucene 検索インデックスサーバを設定する際、DNS 名を使用する必要があります。この設定実行中に IP アドレスを使った場合、対応する DNS エントリが存在しなければ、接続が確立されません。

IP アドレスを使うのに、対応する DNS エントリが存在しない場合は、Filr サーバ上の etc\hosts ファイルを修正する必要があります。

7.4 LDAP 同期とログインに使用するユーザ名の文字制限

LDAP ユーザ名には、数値 (0 ~ 9)、大文字と小文字のアルファベット (A ~ Z) しか使用できません。特殊文字 (/ * ? " < > : |) を含むユーザ名は、Novell Filr ユーザ名には使用できません。LDAP ディレクトリにこれらの文字が入ったユーザ名が含まれている場合、Filr サイトとの同期は行われますが、関連付けられたユーザはログインできません。

これらの文字を Filr ユーザ名に使用することはできません。これは Filr ユーザ名がユーザのワークスペースタイトルとなり、ワークスペースタイトルはワークスペースにつながる階層パスの要素になるからです。これらの文字は Linux や Windows のパス名の正規文字ではありません。

7.5 LDAP から同期したユーザ名とパスワードは Filr ログインで大文字小文字の区別がされない

LDAP ディレクトリから同期されたユーザ名とパスワードは、Filr システムへのログインで大文字と小文字の区別がされません。

ローカルユーザアカウント (Filr で作成され、LDAP ディレクトリから同期されていないユーザアカウント) の場合は、大文字と小文字が区別されます。ローカルユーザアカウントのログインアカウント情報は、MySQL データベースに保存されます。

7.6 アプレットサポートの制限

アプレットは、1.6.0_12 以前の Java ランタイム環境 (JRE) を搭載したシステムでは、64 ビット版 Firefox でサポートされていません。

アプレットは、64 ビットオペレーティングシステム上 (アプレットが動作できる JRE 1.6.0.12 以降の更新) で機能します。

たとえば、デスクトップから複数ファイルをドラッグアンドドロップ、デスクトップからファイルを貼り付け、インプレース編集、およびワークフローエディタでグラフィックを表示するなどの動作は、アプレットがサポートされていないと機能しません。

7.7 NFS サポート

Filr ファイルリポジトリを Filr が実行されている場所からリモートサーバに配置できるように、NFS ファイルシステムマウントがサポートされています。ただし、NFS ファイルシステムマウントは、Lucene インデックスを Lucene Index Server が実行されている場所からリモートサーバに配置することはサポートしていません。これには、ハイパーバイザの下の NFS マウントも含まれます。

7.8 Access Manager の問題

- ◆ 5 ページのセクション 7.8.1 「Access Manager との互換性」
- ◆ 5 ページのセクション 7.8.2 「Access Manager の [基本認証ログイン] ページに Vibe へのリファレンスが含まれている」
- ◆ 5 ページのセクション 7.8.3 「複数の ID 導入ポリシーを同時に使用できない」

7.8.1 Access Manager との互換性

Novell Filr と NetIQ Access Manager を正しく併用するには、Access Manager 3.1 SP1 IR1 以降が必要です。最新のバージョンは、[Novell Downloads Web サイト \(http://download.novell.com\)](http://download.novell.com) で入手できます。

7.8.2 Access Manager の [基本認証ログイン] ページに Vibe へのリファレンスが含まれている

NetIQ Access Manager が Filr のフロント処理をするように設定されている場合、ユーザが Filr IP アドレスを使って Filr に直接アクセスすると、Access Manager は [基本認証ログイン] ダイアログボックスを表示します。このログインダイアログボックスに、Vibe へのリファレンスが含まれています。しかし、これは「Filr」と表示されるべきです。

7.8.3 複数の ID 導入ポリシーを同時に使用できない

NetIQ Access Manager が Filr のフロント処理をするように設定されている場合、複数の ID 導入ポリシーを同時に使うことはできません。

8 Filr の問題

- ◆ 6 ページのセクション 8.1 「レポーティングに関する問題」
- ◆ 6 ページのセクション 8.2 「検索で [マイファイルストレージ] ディレクトリが表示される」
- ◆ 7 ページのセクション 8.3 「共有の問題」
- ◆ 7 ページのセクション 8.4 「LDAP 同期化の問題」
- ◆ 9 ページのセクション 8.5 「パスワード保護されたファイル」
- ◆ 9 ページのセクション 8.6 「フォルダのネスティングに関する問題」
- ◆ 9 ページのセクション 8.7 「電子メールの問題」
- ◆ 10 ページのセクション 8.8 「Windows で Safari を使用するとフォルダにファイルをドラッグアンドドロップできない」
- ◆ 10 ページのセクション 8.9 「ファイル名が 200 文字を超えることができない」
- ◆ 10 ページのセクション 8.10 「WebDAV の問題」
- ◆ 12 ページのセクション 8.11 「Windows XP の Windows エクスプローラで Filr フォルダを表示すると別のフォルダも表示される」

- ◆ 12 ページのセクション 8.12「パスワードが 79 文字より長いと Web クライアントにログインできない」
- ◆ 12 ページのセクション 8.13「サードパーティのソフトウェアが原因の表示に関する問題」
- ◆ 13 ページのセクション 8.14「catalina.out ログファイルのタイムスタンプが常に UTC タイムゾーンになる」
- ◆ 13 ページのセクション 8.15「Filtr を再起動した後に時刻が不正確になる」

8.1 レポーティングに関する問題

- ◆ 6 ページのセクション 8.1.1「電子メールレポートで、レポートの最終日の項目が欠落する」
- ◆ 6 ページのセクション 8.1.2「ライセンスレポートに関する問題」
- ◆ 6 ページのセクション 8.1.3「ユーザアクティビティレポートを生成すると、大量のメモリが使用される」

8.1.1 電子メールレポートで、レポートの最終日の項目が欠落する

『*Novell Filr 1.0.1 Administration Guide*』の「[Email Report](#)」の説明に従って電子メールレポートを実行した場合、日付範囲の最終日のレポートが表示されません。

たとえば、2月3日～4月26日の電子メールレポートを実行した場合、4月26日の電子メールが表示されません。

8.1.2 ライセンスレポートに関する問題

現在、ライセンスレポートは、管理者、ゲスト、3つの内部ユーザ (`_emailPostingAgent`、`_jobProcessingAgent`、および `_synchronizationAgent`) をローカルユーザとしてカウントしています。Filtr ライセンスの使用に関しては、管理者はアクティブなユーザとしてカウントされますが、他の4つのローカルユーザはカウントされません。

ライセンスレポートの生成方法については、『*Novell Filr 1.0.1 Administration Guide*』の「[License Report](#)」を参照してください。

8.1.3 ユーザアクティビティレポートを生成すると、大量のメモリが使用される

(『*Novell Filr 1.0.1 Administration Guide*』の「[User Activity Report](#)」の説明に従って) ワークスペースまたはフォルダのアクティビティに関するユーザアクティビティレポートを生成すると、Filtr システムに最近追加されたファイル数によっては、メモリが大量に使用されることがあります。

この問題は、ユーザが選択されていない場合にのみ発生します。この問題を回避するには、アクティビティレポートの生成対象となるユーザを1人以上選択してから、レポートを生成してください。

8.2 検索で [マイファイルストレージ] ディレクトリが表示される

[個人ストレージ] が無効で、ホームフォルダが設定されていない場合、グローバル [検索] フィールドをクリックしてスペースバーを押すと、[マイファイルストレージ] というディレクトリが表示されます。これは通常隠しディレクトリですが、上記のような特殊な状況下で表示されることがあります。

[マイファイルストレージ] をクリックすると、[マイファイル] 領域か別のユーザのプロファイルのいずれかに移動します (検索実行時の場所に依存)。

8.3 共有の問題

- ◆ 7 ページのセクション 8.3.1 「メンバーシップに外部ユーザが含まれているグループと共有できない」
- ◆ 7 ページのセクション 8.3.2 「.rtf ファイルを編集すると編集の競合エラーが発生する」

8.3.1 メンバーシップに外部ユーザが含まれているグループと共有できない

メンバーシップに外部ユーザが含まれているグループとファイルやフォルダを共有しようとする、エラーが発生し、そのグループとファイルまたはフォルダが共有されません。

8.3.2 .rtf ファイルを編集すると編集の競合エラーが発生する

テキストエディタ (Microsoft Word など) で Filr から .rtf ファイルを編集した後、ファイルを保存すると、別のユーザによってファイルが変更されたことを示すメッセージが表示されます。この場合、自分の変更を別のユーザの変更と結合するオプションを選択し、[OK] をクリックします。

ファイルへの変更は Filr に正常に保存されます。

インプレース編集機能を使った編集について詳しくは、『[Novell Filr 1.0.1 Web アプリケーションユーザガイド](#)』の「[インプレース編集によるファイルの編集](#)」を参照してください。

8.4 LDAP 同期化の問題

- ◆ 7 ページのセクション 8.4.1 「LDAP からユーザを削除したときの問題」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.2 「Filr ユーザの初期同期の問題」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.3 「Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2008 のハードコード化された LDAP 制限」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.4 「LDAP 経由では Active Directory のデフォルトのグループおよびコンテナが Filr に同期されない」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.5 「LDAP ディレクトリのユーザの名前変更と移動の問題」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.6 「LDAP で名前変更すると新しい名前で Filr モバイルアプリケーションやデスクトップアプリケーションにログインできない」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.7 「LDAP 参照がサポートされない」
- ◆ 8 ページのセクション 8.4.8 「Active Directory の Cross Forest Trust 関係がサポートされない」

8.4.1 LDAP からユーザを削除したときの問題

LDAP 同期の設定時、[\[LDAP に存在しないユーザを削除\]](#) オプションを選択しないことをお勧めします。この機能は、今後の Filr リリースで拡張されるか削除される予定です。削除したユーザアカウントは復元できません。ベストプラクティスとして、この LDAP オプションはオフのままにしてください。そうすることで、ユーザを削除するのではなく、ユーザを無効にすることができます。

8.4.2 Filr ユーザの初期同期の問題

LDAP 設定の [Filr の名前に使用される LDAP 属性] で指定する LDAP 属性値は、LDAP ディレクトリ内で一意でなければなりません。たとえば、cn を指定すると、LDAP ディレクトリ内のすべてのユーザが一意の値を持たない場合があります。

この問題を解決するためには、emailAddress など、すべてのコンテナ全体に対して常に一意の値を持つ属性を使用してください。

8.4.3 Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2008 のハードコード化された LDAP 制限

Windows 2008 R2 と Windows Server 2008 に関してハードコード化された LDAP 制限があるため、単一の LDAP クエリに対して、LDAP が返す情報量が少なくなる場合があります。この制限は、次のとおりです。

- ◆ 同期可能なユーザ数は最大 20,000 人（デフォルトの制限は 5,000 人）

この問題を回避するには、サブコンテナごとにベース dn を作成してください。

この問題の詳細については、Microsoft サポートフォーラム (<http://support.microsoft.com/kb/2009267>) の「[Windows Server 2008 R2 or Windows Server 2008 domain controller returns only 5000 attributes in a LDAP response (<http://support.microsoft.com/kb/2009267>)]」を参照してください。

8.4.4 LDAP 経由では Active Directory のデフォルトのグループおよびコンテナが Filr に同期されない

Active Directory のデフォルトユーザ OU に配置されているグループ (Domain Users グループなど) のメンバーシップは、LDAP 経由で Filr に同期されません。

8.4.5 LDAP ディレクトリのユーザの名前変更と移動の問題

LDAP ディレクトリ内のユーザの名前変更や移動を行う場合は、『*Novell Filr 1.0.1 Administration Guide*』の「[Managing Users]」、「[LDAP Attribute to Identify a User or Group]」に説明されているように、[ユーザまたはグループを一意に識別する LDAP 属性] 設定値が指定されていることを確認してください。この設定の値が指定されていない場合に LDAP ディレクトリのユーザの名前変更や移動を行うと、Filr で新規ユーザが作成されたり、既存のユーザアカウントが削除されたりすることがあります。

8.4.6 LDAP で名前変更すると新しい名前 Filr モバイルアプリケーションやデスクトップアプリケーションにログインできない

LDAP ディレクトリでユーザ名を変更した後、Filr モバイルアプリケーションまたは Filr デスクトップアプリケーションにログインするには、以前のユーザ名を使用する必要があります。

Web クライアントから Filr にログインする場合は、以前のユーザ名も新規ユーザ名も使用できません。

8.4.7 LDAP 参照がサポートされない

Novell Filr は現在、LDAP 同期に関して LDAP 参照の使用をサポートしていません。

8.4.8 Active Directory の Cross Forest Trust 関係がサポートされない

Filr では、Active Directory の Cross Forest Trust はサポートされていません。

8.5 パスワード保護されたファイル

作成元のアプリケーションでパスワード保護されているファイルは、Novell Filr サイトでは表示できません。この動作は仕様によるものです。

8.6 フォルダのネスティングに関する問題

データベース制約のため、Filr で許可されているネストされたフォルダ最大数は 45 です。たとえば、フォルダ内にフォルダを作成し、その後そのフォルダ内にフォルダを作成するなど、フォルダ構造は 45 階層の深さまで作成できます。フォルダ構造では 45 階層を超えることはできません。

8.7 電子メールの問題

- ◆ [9 ページのセクション 8.7.1 「外部発信メールシステムと通信できない」](#)
- ◆ [9 ページのセクション 8.7.2 「認証が必要ない場合でもユーザ名とパスワードを指定しないとテスト接続が失敗する」](#)
- ◆ [9 ページのセクション 8.7.3 「Filr サーバを再設定した後、アウトバウンド電子メールサーバの接続テストが失敗する」](#)

8.7.1 外部発信メールシステムと通信できない

Filr サイトで外部発信メールシステム (Novell GroupWise など) と通信できない場合、TLS over SMTP を使用して Filr 発信電子メールサーバを設定する必要があるかもしれません。ご使用の電子メールアプリケーションでこのタイプの設定が必要になる場合、『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Managing Email Configuration](#)」、「[Configuring Outbound Email with TLS over SMTP](#)」で説明されているように、STARTTLS を使用して、TLS over SMTP による Filr の設定を行うことができます。

8.7.2 認証が必要ない場合でもユーザ名とパスワードを指定しないとテスト接続が失敗する

外部発信メールシステム (Novell GroupWise など) を使用するように Filr を設定するときに [認証が必要] オプションを選択していなくても、ユーザ名とパスワードを指定しないと [接続をテスト] ボタンが表示されません。

外部発信メールサーバを使用するように Filr を設定する方法については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Changing Outbound Email Configuration Settings](#)」を参照してください。

8.7.3 Filr サーバを再設定した後、アウトバウンド電子メールサーバの接続テストが失敗する

Filr サーバを再設定すると、アウトバウンド電子メールのページからパスワードがクリアされるため、[接続をテスト] ボタンが動作しません。ただし、パスワードはシステムで保持されているため、Filr システムからのアウトバウンド通知の送信は行われます。(アウトバウンド電子メールの設定の詳細については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Changing Outbound Email Configuration Settings](#)」を参照してください。

[接続をテスト] ボタンを正常に機能させるには、アウトバウンド電子メールのページの [パスワード] フィールドにパスワードを再入力する必要があります。

8.8 Windows で Safari を使用するとフォルダにファイルをドラッグアンドドロップできない

Windows で Safari を使用している場合、『[Novell Filr 1.0.1 Web アプリケーションユーザガイド](#)』の「[フォルダへのファイルの追加](#)」で説明されているように、フォルダにファイルをドラッグアンドドロップすることができません。

これは、Filr でファイルをフォルダに追加するためのドラッグアンドドロップウィンドウが、現時点で Windows の Safari でサポートされていない HTML 5 の機能を使用するためです。

8.9 ファイル名が 200 文字を超えることができない

正確な最大ファイル名の長さは Filr サーバの設定によって決まりますが、一般的には 200 文字未満です。ファイル名が長すぎると、ファイルを Filr に追加できません。

8.10 WebDAV の問題

- ◆ [10 ページのセクション 8.10.1「ユーザパスワードにスペースが含まれていると WebDAV\(インプレース編集\)でファイルを編集できない](#)
- ◆ [10 ページのセクション 8.10.2「Mac で LibreOffice を使用していると WebDAV \(インプレース編集\)でファイルを編集できない](#)
- ◆ [11 ページのセクション 8.10.3「Windows Vista および Windows XP の WebDAV 機能向けの Windows Update](#)」
- ◆ [11 ページのセクション 8.10.4「Microsoft Windows Vista と Microsoft Office に関連する WebDAV/インプレース編集に関する問題](#)」
- ◆ [12 ページのセクション 8.10.5「Mac における WebDAV の制限事項](#)」

8.10.1 ユーザパスワードにスペースが含まれていると WebDAV(インプレース編集)でファイルを編集できない

『[Novell Filr 1.0.1 Web アプリケーションユーザガイド](#)』の「[インプレース編集によるファイルの編集](#)」の説明にあるように、WebDAV を介してファイルを編集しようとする際に、ユーザパスワードにスペースが含まれていると認証が失敗します。

WebDAV を介してファイルを編集するには、ユーザパスワードにスペースが含まれていないことを確認してください。

8.10.2 Mac で LibreOffice を使用していると WebDAV (インプレース編集)でファイルを編集できない

Mac から Filr にアクセスし、文書エディタとして LibreOffice を使用している場合、『[Novell Filr 1.0.1 Web アプリケーションユーザガイド](#)』の「[インプレース編集によるファイルの編集](#)」で説明されているように、インプレース編集機能を使って WebDAV からファイルを編集することはできません。

Apache を使って Filr システムのフロント処理をしている場合は、Mac から Filr にアクセスし、文書エディタとして LibreOffice を使用していても、WebDAV からファイルを編集できます。

8.10.3 Windows Vista および Windows XP の WebDAV 機能向けの Windows Update

重要: この更新プログラムは、Windows Vista および Windows XP にのみインストールします。Windows 7 にこの更新プログラムをインストールしないでください。

Windows Vista および Windows XP のブラウザで Novell Filr のインプレース編集機能を使用するには、次の Windows WebDAV 更新プログラムをインストールする必要があります。

Web フォルダのソフトウェア更新プログラム (KB907306) (<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=17C36612-632E-4C04-9382-987622ED1D64&displaylang=en>)。

この Windows 更新プログラムは、OpenOffice.org および Microsoft Office が、Filr のインプレース編集機能と正しく相互作用できるようにします。

8.10.4 Microsoft Windows Vista と Microsoft Office に関連する WebDAV/ インプレース編集に関する問題

Microsoft Windows Vista には、すべての WebDAV 相互作用に影響を与える WebDAV アクセスの問題があります。また、アプレットに関する Vista 特有の問題は、Novell Filr インプレース編集機能が正しく動作するのを妨げます。必ず、最新バージョンの Vista を実行してください。[11 ページのセクション 8.10.3 「Windows Vista および Windows XP の WebDAV 機能向けの Windows Update」](#)に記載されている Windows WebDAV 更新プログラムがインストールされていることを確認してください。

Internet Explorer を使用している Windows Vista ユーザがインプレース編集を使用すると、Java の警告が表示される場合があります。(Firefox ユーザには、このエラーは表示されません)。

Filr インプレース編集機能をサポートするように Internet Explorer を設定するには：

- 1 Internet Explorer で [ツール] > [インターネットオプション] の順にクリックします。
- 2 [セキュリティ] をクリックし、[信頼済みサイト] を選択してから、[サイト] をクリックします。
- 3 [この Web サイトをゾーンに追加する] フィールドで、Filr サーバの URL を指定してから、[追加] をクリックします。
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] を、ご使用の Filr サーバに合わせて選択または選択解除します。
- 5 [閉じる] をクリックしてから、[OK] をクリックしてセキュリティ設定を保存します。

Windows Vista が Microsoft Office での Filr インプレース編集機能をサポートするように設定するには、各 Microsoft Office アプリケーションの Windows レジストリに新しいキーを追加する必要があります。

- 1 Windows エクスプローラで、Program Files/Microsoft Office/Office12 にナビゲートします。
- 2 順番に各 Microsoft Office .exe を下にスクロールします。

```
excel.exe  
powerpnt.exe  
winword.exe  
...
```

- 3 各実行可能ファイルを右クリックしてから、[プロパティ] をクリックします。
- 4 [互換性] をクリックします。

- 5 [互換モードでこのプログラムを実行する] を選択して、ドロップダウンリストから [Windows XP (Service Pack 2)] を選択します。
- 6 コンピュータを再起動します。

これで、Microsoft Office ファイルに対して Filr インプレース編集機能を使用できるようになります。

注：これらの手順で Filr のインプレース編集機能を使用できるようになりますが、Vista が WebDAV 経由で Filr に接続できない問題は修正されません。

アプレットの詳細については、次の Sun の情報を参照してください。

- ◆ [Bug 6440902 \(http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=6440902\)](http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=6440902)
- ◆ [Bug 6432317 \(http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=6432317\)](http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=6432317)

8.10.5 Mac における WebDAV の制限事項

Mac 環境で WebDAV 機能を使用する場合、以下の制限が生じます。

- ◆ [12 ページのセクション 8.10.5.1「Mac 上で WebDAV を使用してファイルを編集する際の制限事項」](#)

8.10.5.1 Mac 上で WebDAV を使用してファイルを編集する際の制限事項

Microsoft Office をドキュメントエディタとして使用する場合、Mac ではインプレース編集機能がサポートされません。Mac でインプレース編集機能を使用するには、ドキュメントエディタに OpenOffice か LibreOffice を使用する必要があります。

8.11 Windows XP の Windows エクスプローラで Filr フォルダを表示すると別のフォルダも表示される

Windows XP の Windows エクスプローラを使用して Filr フォルダを表示すると、親フォルダと同じ名前の別のサブフォルダが表示されることがあります。

この問題を解決するには、次の手順に従います。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Microsoft ダウンロードセンターに移動し、Web フォルダ用のソフトウェア更新プログラム (KB907306) をインストールします。(<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=17C36612-632E-4C04-9382-987622ED1D64&displaylang=en>)
- 3 画面の指示に従って、ソフトウェア更新プログラムをインストールします。

8.12 パスワードが 79 文字より長いと Web クライアントにログインできない

パスワードの長さが 79 文字を超えている場合、Filr Web クライアントにログインできません。

8.13 サードパーティのソフトウェアが原因の表示に関する問題

- ◆ [13 ページのセクション 8.13.1「まれに意味のないスクロールバーが表示される」](#)
- ◆ [13 ページのセクション 8.13.2「Chrome に Ask ツールバーがインストールされていると Filr が正しく表示されない」](#)

8.13.1 まれに意味のないスクロールバーが表示される

特定のフォルダやコレクションビューに、意味のないスクロールバーがまれに表示されることがあります。この問題はまれに発生するもので、影響はありません。

8.13.2 Chrome に Ask ツールバーがインストールされていると Filr が正しく表示されない

Chrome ブラウザに Ask ツールバーがインストールされている場合、Filr マストヘッドの一部が表示されなくなります。Ask ツールバーは Chrome 公認のツールバーではないため、Chrome ブラウザにインストールしないでください。

8.14 catalina.out ログファイルのタイムスタンプが常に UTC タイムゾーンになる

catalina.out ログファイルのエントリのタイムスタンプは、常に UTC/GMT タイムゾーンです。

8.15 Filr を再起動した後に時刻が不正確になる

Filr アプライアンスが再起動してから Filr アプライアンスで時刻同期が再実行されるまでの短期間、Filr システムクロックの時刻が正しく表示されません。

この間、正しいタイムゾーン設定に依存する機能に関して、さまざまな問題が Filr サイトで発生する可能性があります。

Filr アプライアンスのターミナルプロンプトから次のコマンドを指定して、Filr アプライアンスで時刻同期を強制的に発生させることによりこの問題を解決してください。

```
sntp -P no -r pool.ntp.org (またはネットワークで使用可能な優先タイムサーバ)
```

9 [ネットフォルダ] に関する問題

- ◆ 14 ページのセクション 9.1「Active Directory グループが所有しているファイルとフォルダが同期しない」
- ◆ 14 ページのセクション 9.2「ホームフォルダからフォルダを Active Directory と共有するとファイルが表示されないことがある」
- ◆ 14 ページのセクション 9.3「OES サーバの内部エラーまたはシステムエラーで [ネットフォルダ] の情報が正しく表示されない」
- ◆ 14 ページのセクション 9.4「現在 DFS ジャンクションがサポートされていない」
- ◆ 15 ページのセクション 9.5「ボリュームにトラスティが割り当てられていないと [ネットフォルダ] が表示されない」
- ◆ 15 ページのセクション 9.6「OES サーバ上に eDirectory のレプリカがないと OES サーバに接続できない」
- ◆ 15 ページのセクション 9.7「ファイルサーバのファイルを名前変更または移動すると共有が解除される」
- ◆ 15 ページのセクション 9.8「不適切なパス情報が存在していても、ネットフォルダサーバの接続テストが正常と判断される」

9.1 Active Directory グループが所有しているファイルとフォルダが同期しない

Windows ファイルサーバでは、組み込み Active Directory グループ(「管理者グループ」など)が所有しているファイルとフォルダは、通常のネットフォルダ同期プロセスの一環として Filr に同期されません。

この制限が原因で同期しないファイルやフォルダがある場合、NTFS ファイルシステム上のエントリの所有者をグループではなくユーザーに変更してください。こうすることで、エントリが Filr に同期されるようになります。

9.2 ホームフォルダからフォルダを Active Directory と共有するとファイルが表示されないことがある

ユーザーのホームフォルダをサポートするように Windows ファイルサーバを設定するには、さまざまな方法があります。通常は、Filr から Active Directory ユーザに対して共有するフォルダは正しく動作します。しかし、Windows ファイルシステムの NTFS 権限が Filr と互換性を持つように設定されていない場合、Active Directory ユーザがホームフォルダのフォルダを別のユーザーと共有すると、共有されたフォルダ内のファイルが表示されないことがあります。

フォルダが共有されるときに、Active Directory ユーザのホームディレクトリのフォルダにあるファイルが確実に共有されるようにするには、各ユーザーのホームディレクトリの継承を無効にしてください。またホームディレクトリのサブフォルダに対する権限を明示的に付与することも必要です。

さらに、Filr は Microsoft の ABE (Access Based Enumeration) をサポートしています。ABE は Windows 2003 から Windows Server 2012 で使用できます。ABE を使って Windows ファイルシステムが設定されていると、ホームフォルダの共有が適切に動作します。

9.3 OES サーバの内部エラーまたはシステムエラーで [ネットフォルダ] の情報が正しく表示されない

OES ファイルサーバがオンラインで、Filr が NCP または CIFS を介してそのサーバと通信できる場合、内部エラーまたはシステムエラー (NDS のダウンなど) が発生すると、そのサーバから取得する情報が正確でないことがあります。[ネットフォルダ] の情報が Filr の内容を正しく反映していないように思われる場合は、ファイルサーバの健全性をチェックして、想定どおりに設定と実行が行われていることを確認してください。

9.4 現在 DFS ジャンクションがサポートされていない

Filr では Windows および OES 上の DFS ジャンクションは現在サポートされていません。この機能のサポートは、将来の Filr のリリースで使用可能になります。

9.5 ボリュームにトラスティが割り当てられていないと [ネットフォルダ] が表示されない

ユーザが NSS ボリューム上のフォルダに対してファイルシステム権限を持っており、ファイル管理者が [ネットフォルダ] を設定し、Filtr 内でネットフォルダにアクセスする権限をそのユーザに付与している場合、以下の状況では [ネットフォルダ] が表示されません。

- ボリュームにファイルシステムのトラスティが割り当てられていない
- eDirectory トラスティが存在しない (ツリー管理者と ncp サーバを含む)

9.6 OES サーバ上に eDirectory のレプリカがないと OES サーバに接続できない

ネットフォルダサーバから OES サーバへの接続を確立するには、OES サーバ上のボリュームオブジェクトとユーザオブジェクトが外部参照ではなく、実際のオブジェクトである必要があります。つまり、これらのオブジェクトを含んでいるレプリカが OES サーバ側に必要です。

9.7 ファイルサーバのファイルを名前変更または移動すると共有が解除される

Filtr クライアントを使わずに、ファイルサーバから直接ファイルを名前変更したり移動したりすると、Filtr でそのファイルに関連付けられている共有が解除されます。つまり、Filtr で共有を受けたことによりファイルへのアクセスを取得したユーザは、ファイルサーバで名前変更または移動されたファイルにアクセスできなくなります。さらに、[自分が共有者] と [自分が共有相手] ビューにそのファイルは表示されなくなります。

このような状況が発生した場合、Filtr でファイルを再共有する必要があります。

9.8 不適切なパス情報が存在していても、ネットフォルダサーバの接続テストが正常と判断される

ネットフォルダサーバの接続をテストする場合、[サーバパス] フィールドのパスにスラッシュ (/) が含まれていても、テスト接続は正常と判断されます。ただしファイルとフォルダは、ネットフォルダサーバを介して、Filtr に適切に同期されていません。ネットフォルダサーバを設定する場合は、代わりに [サーバパス] フィールドに必ず円記号 (\) を使用してください。

10 データベースの問題

- [15 ページのセクション 10.1 「フォルダパスが長すぎる場合、データベーススキーマがエラーを返す」](#)

10.1 フォルダパスが長すぎる場合、データベーススキーマがエラーを返す

フォルダ階層の非常に深い場所にフォルダを作成した場合、長すぎるフォルダパスが原因で、データベーススキーマは ssf.log ファイルに次のようなエラーを返します。

```
SQL Error: 1406, SQLState: 22001
Data truncation: Data too long for column 'binder_sortKey' at row 1
```

このエラーはログファイルで繰り返され、フォルダは作成されません。

11 検索インデックスに関する問題

現在、検索インデックスに関する既知の問題はありません。

12 デスクトップアプリケーションに関する問題

Novell Filr デスクトップアプリケーションを使用すると、Novell Filr ファイルとコンピュータのファイルシステムを同期させることができ、Filr サイトに直接アクセスしなくても、ファイルを修正することができます。Filr とコンピュータ間で追加および修正が同期されます。

組織に合わせた Filr デスクトップアプリケーションの設定方法、およびその他の管理タスクの実行方法については、『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Configuring the Filr Desktop Application to Access Files](#)」を参照してください。

Filr デスクトップアプリケーションのインストール方法と実行方法については、『[Novell Filr Desktop Application for Windows クイックスタート](#) (http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_desktop/data/filr1_qs_desktop.html)』を参照してください。

Filr デスクトップアプリケーションのエンドユーザに関する具体的な問題については、『[Novell Filr デスクトップアプリケーション Readme](#) (http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_readme_desktop/data/filr1_readme_desktop.html)』を参照してください。

- ◆ 16 ページのセクション 12.1「デスクトップアプリケーションからフォルダを作成すると、2つのフォルダが作成される」
- ◆ 16 ページのセクション 12.2「新しいインデックスアプライアンスが追加されるか、既存のインデックスアプライアンスのインデックスが再生成されると、デスクトップクライアントからファイルが削除されることがある」
- ◆ 17 ページのセクション 12.3「ポートのリダイレクトが有効な場合、埋め込みブラウザを起動するにはユーザのサインインが必要」
- ◆ 17 ページのセクション 12.4「Filr との併用が Access Manager で設定されている場合、埋め込みブラウザの起動にユーザのサインインが必要」
- ◆ 17 ページのセクション 12.5「ファイルとフォルダを削除するときの動作が、英語以外の言語の『Filr デスクトップクイックスタート』に正しく記述されていない」

12.1 デスクトップアプリケーションからフォルダを作成すると、2つのフォルダが作成される

(Windows Explorer を使って) Filr デスクトップアプリケーションのフォルダを作成すると、1つのフォルダではなく、2つのフォルダが作成されることがあります。この場合、1つのフォルダはユーザが指定した名前で、もう1つのフォルダは「New Folder」という名前になります。この問題が発生した場合、New Folder という名前のフォルダを削除してください。

12.2 新しいインデックスアプライアンスが追加されるか、既存のインデックスアプライアンスのインデックスが再生成されると、デスクトップクライアントからファイルが削除されることがある

デスクトップクライアントを介して Filr にファイルをアップロードしながら、同時に新しい検索インデックスアプライアンスを追加しているか、(『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Rebuilding the Lucene Index](#)」の説明に従って) 既存の検索インデックスアプライアンスのイン

デスクスを再生成している場合、ユーザのデスクトップクライアントの全ファイルが、デスクトップクライアントから削除されることがあります。インデックスの再生成後、ファイルは再度デスクトップクライアントと同期します。

この問題を回避するには、更新プロセスを開始する前に、すべての検索インデックスアプライアンスをシャットダウンし、更新完了後にアプライアンスを再起動する必要があります。

12.3 ポートのリダイレクトが有効な場合、埋め込みブラウザを起動するにはユーザのサインインが必要

Filr アプライアンスに対してポートのリダイレクトが有効になっている場合 (ポート番号を含めない Filr サイト URL の指定が可能)、Filr デスクトップアプリケーションから埋め込みブラウザを起動する処理を実行するときに Filr サイトにサインインする必要があります。たとえば、Filr デスクトップアプリケーションからファイルを共有する場合、Filr にサインインしてからファイルを共有する必要があります。

このような場合、デスクトップアプリケーション設定時のサーバ URL にポートを入力すれば、埋め込みブラウザを使用する際に自動でサインインされます。

ポートのリダイレクトを有効にする方法については、『[Novell Filr 1.0.1 Installation and Configuration Guide](#)』の「[Changing the Network Configuration Settings](#)」を参照してください。

12.4 Filr との併用が Access Manager で設定されている場合、埋め込みブラウザの起動にユーザのサインインが必要

NetIQ Access Manager が Filr のフロント処理をするように設定されている場合、Filr デスクトップアプリケーションから埋め込みブラウザを起動する処理を実行するときに Filr サイトにサインインする必要があります。たとえば、Filr デスクトップアプリケーションからファイルを共有する場合、Filr にサインインしてからファイルを共有する必要があります。

12.5 ファイルとフォルダを削除するときの動作が、英語以外の言語の『Filr デスクトップクイックスタート』に正しく記述されていない

英語以外の『*Filr Desktop* クイックスタート』に、Filr デスクトップアプリケーションからのフォルダとファイルの削除に関して、次のように誤った記載があります。「[マイファイル] フォルダ内のドキュメントおよびフォルダだけが、サーバ上で削除されます。[マイファイル] フォルダにないドキュメントまたはフォルダを削除しても、Filr デスクトップアプリケーションとは同期されず、ファイルとフォルダはサーバに残ります。」

ユーザに正しい動作を周知させてください。誤った記述に従うと、Filr から情報が誤って削除されてしまう可能性があります。

正しい情報を以下に示します。

Filr デスクトップアプリケーションからファイルやフォルダを削除すると、[ネットフォルダ] と [マイファイル] 領域にあるすべてのファイルについては、サーバからもファイルやフォルダが削除されます。[自分が共有相手] 領域のファイルまたはフォルダを削除する場合の動作は異なります。

自分が直接共有を受けたファイルまたはフォルダを [自分が共有相手] 領域から削除すると、Filr デスクトップアプリケーションには同期されなくなりますが、ファイルとフォルダはサーバに残ります。

自分が共有を受けたファイル、または共有を受けたフォルダのサブフォルダとなるフォルダを削除する場合、または削除対象のファイルが共有を受けたフォルダに格納されている場合、削除する十分な権限がなくてもファイルまたはフォルダが削除されます。

13 モバイルアプリケーションに関する問題

Filr モバイルアプリケーションのインストール方法と実行方法については、『[Novell Filr Mobile App クイックスタート \(http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_mobile/data/filr1_qs_mobile.html\)](http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/filr1_qs_mobile/data/filr1_qs_mobile.html)』を参照してください。

Filr モバイルアプリケーションの既知の問題を以下に示します。

- ◆ 18 ページのセクション 13.1 「ジャストインタイム同期で [ダウンロード] 領域のファイルが同期されない」
- ◆ 18 ページのセクション 13.2 「個人ストレージが有効になるとホームフォルダから追加された [ダウンロード] 領域のファイルが削除される」
- ◆ 18 ページのセクション 13.3 「[ネットフォルダ] から [ダウンロード] 領域に追加されたファイルが名前変更または移動されると削除される」
- ◆ 19 ページのセクション 13.4 「パスワードに 2 バイト文字が含まれているとモバイルアプリケーションに認証されない」
- ◆ 19 ページのセクション 13.5 「500 個を超えるフォルダを格納しているネットフォルダ内のフォルダが表示されない」

13.1 ジャストインタイム同期で [ダウンロード] 領域のファイルが同期されない

モバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域からファイルにアクセスしても、ジャストインタイム同期がトリガされません。

ジャストインタイム同期だけを設定している (スケジュール設定された同期を無効にしている) 場合、[ネットフォルダ] 内に格納されているファイルで、モバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域に追加されているものは、ファイルシステムから実行された変更に関して自動更新されません。ユーザがいずれかの Filr クライアントを使ってそのファイルを格納している [ネットフォルダ] をブラウズした後に初めて [ダウンロード] 領域内のファイルが更新されます。

13.2 個人ストレージが有効になるとホームフォルダから追加された [ダウンロード] 領域のファイルが削除される

ユーザがホームフォルダからモバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域にファイルを追加し、それから『[Novell Filr 1.0.1 Administration Guide](#)』の「[Setting Up Personal Storage](#)」に説明されている方法で Filr 管理者が個人ストレージを有効にすると、ホームフォルダからモバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域に追加されたファイルが削除されます。

13.3 [ネットフォルダ] から [ダウンロード] 領域に追加されたファイルが名前変更または移動されると削除される

[ネットフォルダ] からモバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域にファイルを追加し、OES または Windows ファイルシステムでそのファイルが名前変更または移動されると、モバイルアプリケーションの [ダウンロード] 領域からそのファイルが削除されます。

13.4 パスワードに 2 バイト文字が含まれているとモバイルアプリケーションに認証されない

ユーザの Filr パスワードに 2 バイト文字が含まれている場合、Filr モバイルアプリケーションにログインできません。

13.5 500 個を超えるフォルダを格納しているネットフォルダ内のフォルダが表示されない

ネットフォルダに 500 個を超えるフォルダが格納されている場合、ネットフォルダ内のフォルダはモバイルアプリケーションに表示されません。その代わりに、ネットフォルダ内のファイルとフォルダを見つけるには、検索機能を使用する必要があることを通知するメッセージが表示されます。

14 ローカライズに関する問題

- ◆ [19 ページのセクション 14.1 「動作状況ログの中国語文字」](#)

14.1 動作状況ログの中国語文字

動作レポートの report.csv ファイルを Microsoft Excel で開くと、report.csv ファイルが正しく作成されていても、中国語の文字が正しく表示されません。これは、Excel が常に ISO ラテン文字セットを使ってファイルを読み取るためです。

1 つの回避策は、Excel の代わりに OpenOffice.org Calc スプレッドシートプログラムを使用することです。この場合、中国語の文字は正しく表示されます。

Excel での回避策：

- 1 [データ] > [外部データの取り込み] > [データの取り込み] を使用して、report.csv ファイルを Excel にインポートします。
- 2 report.csv ファイルを選択してから、[開く] をクリックします。
- 3 [区切り記号] を選択して [UTF-8] を選択してから [次へ] をクリックします。
- 4 区切り記号として [カンマ] を選択し、[次へ] をクリックしてから、[終了] をクリックします。

Excel で中国語文字が正しく表示されるようになりました。

15 セキュリティの問題

- ◆ 20 ページのセクション 15.1「Access Manager によってフロント処理されている Filr に直接アクセスするとログアウトが発生しない」

15.1 Access Manager によってフロント処理されている Filr に直接アクセスするとログアウトが発生しない

Filr が NetIQ Access Manager によってフロント処理されている場合、Filr に直接アクセスできるのは Filr 管理者だけです。このような設定の下で Filr が直接アクセスされると、Filr システムの同時ログアウトはできなくなります。

Filr 管理者が Filr に直接ログインした後 (かつ Filr と Access Manager の併用が設定されている場合)、ログアウトを確実に実行できるようにするため、すべてのブラウザセッションを直ちに終了してください。

16 Filr 1.0.1 のバグ修正

Filr 1.0 以降に修正されたバグのリストについては、「Novell Filr 1.0.1 Bug List (http://www.novell.com/documentation/filr101/filr101_fixes/filr101_fixes.html)」を参照してください。各バグの詳細については、Bugzilla (<https://bugzilla.novell.com/>) のバグ番号を参照してください。

17 Filr マニュアル

次の資料には、Novell Filr 1.0 に関する情報が記述されています。

- ◆ オンライン製品マニュアル: Novell Filr 1.0 マニュアル Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/novell-filr1/>).
- ◆ 各クライアントのヘルプシステム:
 - ◆ Web ビューの場合、Filr ホームページの右上隅のリンクになっている自分の名前をクリックし、[ヘルプ] をクリックします。
 - ◆ デスクトップクライアントの場合、F i l r コンソールの各ページにあるヘルプアイコンをクリックします。
 - ◆ モバイルアプリケーションの場合、[設定] > [ヘルプ] の順をクリックします。

Novell Filr 製品マニュアルに加えて、次の資料では Filr1.0 に関してさらに詳しい情報が提供されています。

- ◆ Novell Filr 製品サイト (<http://www.novell.com/products/filr/>)
- ◆ Novell Filr Cool Solutions (<http://www.novell.com/communities/cool solutions/filr>)
- ◆ Novell Filr Support Forum (<http://forums.novell.com/forums/novell-product-discussions/collaboration/filr>)

18 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2013 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。